

平成22年度全国学力・学習状況調査 宮城県の調査結果概要

1 調査のあらまし

- (1) 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、抽出された学校の小学校6年生（国語、算数）及び中学校3年生（国語、数学）を対象に、平成22年4月20日（火）に実施された。
- (2) 参加状況については、仙台市を含めて公立の小学校は144校、参加児童数は7,100名であり、公立の中学校は118校で、参加生徒数は11,265名であった。

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

- 21年度と比べ、全国の平均正答率が小学校の国語A、Bでは高く、小学校の算数B、中学校の国語B、数学Bでは低くなっており、本県も同様の傾向となっている。
- 本県の小学生の平均正答率は、国語の「知識」に関するA問題については、全国平均を上回る結果となっている。国語の「活用」に関するB問題、算数の「知識」に関するA問題では、全国平均を下回ったが、その差は昨年度より縮まり、僅差となっている。算数の「活用」に関するB問題については、全国平均を下回り、その差が昨年度より大きくなっている。
- 中学生の平均正答率は、国語の「知識」に関するA問題、国語・数学の「活用」に関するB問題については、全国平均を上回る結果となっている。数学の「知識」に関するA問題については、全国平均を下回ったが、その差は昨年度より縮まっている。

			「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題			
			問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較	問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較
小学校	国語	H22	15	83.3 83.2-83.5	83.4 82.7-84.0	+0.1	10	77.8 77.7-78.0	77.7 76.9-78.5	-0.1
		H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0
	算数	H22	19	74.2 74.0-74.4	73.8 72.9-74.7	-0.4	12	49.3 49.1-49.5	47.8 46.8-48.7	-1.5
		H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8
		H20	19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2
		H19	19	82.1	81.1	-1.0	14	63.6	61.4	-2.2
中学校	国語	H22	35	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.7	+1.1	10	65.3 65.1-65.5	66.7 66.0-67.4	+1.4
		H21	33	77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9
		H20	34	73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0
		H19	37	81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0
	数学	H22	36	64.6 64.4-64.8	64.4 63.4-65.4	-0.2	14	43.3 43.1-43.5	44.0 42.9-45.1	+0.7
		H21	33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8
		H20	36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1
		H19	36	71.9	70.3	-1.6	17	60.6	59.4	-1.2

※ 平成22年度の値は、上段は抽出校の平均正答率、下段は抽出校の平均正答率をもとに、悉皆調査を実施した場合の県の平均正答率を想定した値の範囲（95%信頼区間 文部科学省の説明による）。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

ア 基本的な生活習慣、家庭・地域でのコミュニケーションについて

- 21年度までの傾向と同様に、本県の小・中学生は、早寝・早起き・朝ご飯や地域行事への参加など、基本的な生活習慣や家庭・地域でのコミュニケーションに関する質問に対しては、全国に比べて肯定的な回答をしている項目が多い。
- 小・中学生ともに、長時間テレビを見ている子どもの割合は、年々減少してきているが、全国値より高い。

質 問 事 項	小学校(%)				中学校(%)			
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
1 普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか (午後10時より前)	49.6 (+5.8)	51.1 (+7.8)	48.4 (+7.0)	49.4 (+7.3)	6.9 (+1.0)	6.3 (+0.4)	6.0 (+0.7)	6.3 (+1.0)
2 普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか (6時30分より前)	39.8 (+3.0)	39.8 (+3.5)	38.0 (+2.5)	37.9 (+3.5)	30.6 (-3.7)	29.9 (-3.4)	29.2 (-3.5)	29.2 (-2.5)
3 朝食を毎日食べていますか	97.4 (+1.0)	96.6 (+0.6)	96.3 (+0.9)	96.2 (+1.0)	94.5 (+1.2)	94.0 (+1.6)	93.6 (+1.7)	93.3 (+1.7)
4 普段1日どれくらい(の)時間テレビやビデオ・DVDを見ますか (3時間以上)	47.2 (+3.9)	51.1 (+5.4)	51.7 (+5.6)	38.0 (+3.7)	38.1 (+1.6)	40.4 (+2.4)	43.0 (+3.4)	35.9 (+2.8)
5 普段1日どれくらい(の)時間テレビゲームをしますか (3時間以上)	12.6 (+1.3)	13.0 (+1.4)	14.0 (+2.1)	9.8 (+0.9)	10.2 (-0.6)	10.5 (+0.1)	10.4 (-0.1)	10.5 (-0.2)
6 今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.4 (+12.8)	73.0 (+10.6)	71.6 (+11.7)	72.6 (+10.6)	39.5 (+5.2)	40.9 (+3.1)	39.8 (+2.8)	39.7 (+2.2)

※ 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合、()内は全国との比較

※ 4と5については、数値が高いほど、また、全国との比較の値が大きいほど改善の必要性がある。

イ 学習習慣及び学習意欲等について

- 小・中学生ともに、家庭で予習・復習をしている割合は21年度よりも増加しており、全国値よりも高い。
- 平日に家庭で、小学生が1時間以上、中学生が2時間以上学習する割合は、小学生は年々増加し、今年度、全国値を上回ったが、中学生は全国値より低い。

質 問 事 項	小学校(%)				中学校(%)			
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
7 家で学校の授業の予習をしていますか	48.6 (+8.2)	42.6 (+5.1)	39.1 (+3.7)	36.6 (+3.7)	43.9 (+13.0)	42.1 (+12.6)	41.0 (+12.6)	39.3 (+9.8)
8 家で学校の授業の復習をしていますか	61.2 (+11.6)	54.9 (+8.9)	50.8 (+7.4)	35.8 (-4.3)	54.4 (+10.9)	49.7 (+9.2)	48.4 (+8.8)	45.8 (+6.6)
9 平日どれくらい勉強しますか (塾含む、小学校1時間以上、中学校2時間以上)	61.5 (+3.3)	56.9 (-0.3)	52.9 (-3.2)	53.8 (-4.0)	28.5 (-7.2)	29.1 (-6.6)	29.8 (-5.9)	27.4 (-8.0)

※ 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合、()内は全国との比較

(3) 学校質問紙調査の結果

- 「指導計画や学力向上に向けた取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にした」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに100%に達している。
- 国語の指導において、「書く習慣や読む習慣を付ける指導」に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。
- 算数・数学の指導において、実生活における現象との関連を図った授業を行った学校の割合は、小・中学校ともに21年度よりも減少し、全国値よりも低くなっている。

質 問 事 項	小学校(%)				中学校(%)			
	H22	H21	H20	H19	H22	H21	H20	H19
10 指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にしたか	100.0 (+0.1)	86.7 (+2.1)	85.8 (+4.0)	該当なし	100.0 (+0.2)	90.0 (+9.2)	84.5 (+5.6)	該当なし
11 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか	91.6 (+2.2)	88.3 (-0.8)	90.1 (+2.7)	82.2 (-1.2)	94.2 (+3.1)	95.0 (+4.1)	89.5 (-0.3)	85.8 (-1.9)
12 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか	85.4 (+2.4)	85.5 (+2.2)	87.4 (+4.5)	82.6 (+2.3)	84.9 (+0.2)	85.9 (+3.2)	81.4 (-1.7)	84.4 (+2.3)
13 算数・数学の指導として、実生活における現象との関連を図った授業を行ったか	61.7 (-0.9)	66.0 (+4.1)	63.5 (+2.7)	62.4 (+2.3)	50.1 (-1.5)	52.3 (+2.4)	53.7 (+3.9)	46.2 (-2.3)

※ 示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合、()内は全国との比較

3 今後の対応

(1) 各方面への周知と各学校の授業改善等の推進

- 調査結果については、詳細に分析し、学力向上に向けた指導改善の方向性やポイントについて、各市町村教育委員会及び各学校に示していく。
- 今後は、検証改善委員会等において、調査結果をさらに詳細に分析し、学力向上に向けた指導改善の方向性について早期にまとめ、各市町村教育委員会及び各学校に配布し、積極的に活用するよう支援していく。
- 一昨年度から実施している学力向上サポートプログラム事業を継続し、小・中学校学力向上チームを各小中学校に派遣し、今後も支援を進めていく。

(2) 学力向上関係事業の継続実施

- 調査結果を踏まえ、県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会や市町村教育委員会訪問等を実施するなど、情報交換や要望等についての話し合いを通し、連携を深めながら、教員の教科指導力の向上、児童生徒の学習習慣の形成、教育環境基盤の充実に努め、宮城県の最重要課題である児童生徒の学力向上に取り組んでいく。